



# パワーシリコンMX

## POWER SILICON MX

エムエックス

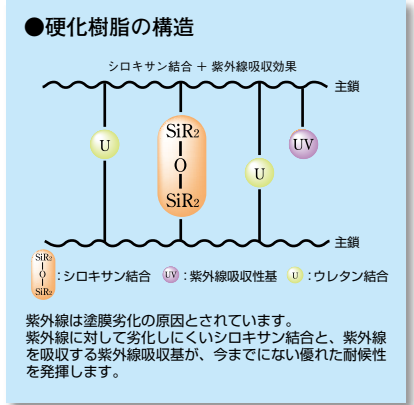


JQA-2631 (合成樹脂塗料)  
JQA-EM3548 (本社工場)

強さは美しさ... 最高クラスの耐久性...

### 特長

- 超耐候性** シロキサン結合と紫外線吸収機能を有することで、大幅に耐候性がアップし、フッ素樹脂塗料に近い超耐候性を有します。
- 低汚染性** 強靱な塗膜が、優れた低汚染性を発揮します。
- 防カビ・防藻性** 水溶性成分を含まないため、防カビ・防藻性に優れています。
- 幅広い素材に適用** 下塗りを変えることで、窯業系素材、金属系素材ともに適合します。
- 塗り替えに最適** 弱溶剤系で旧塗膜を侵しにくく、幅広い塗り替えに適しています。
- 優れた作業性** 従来の溶剤型塗料に比べ臭気が少なく、優れた塗装作業性を提供します。

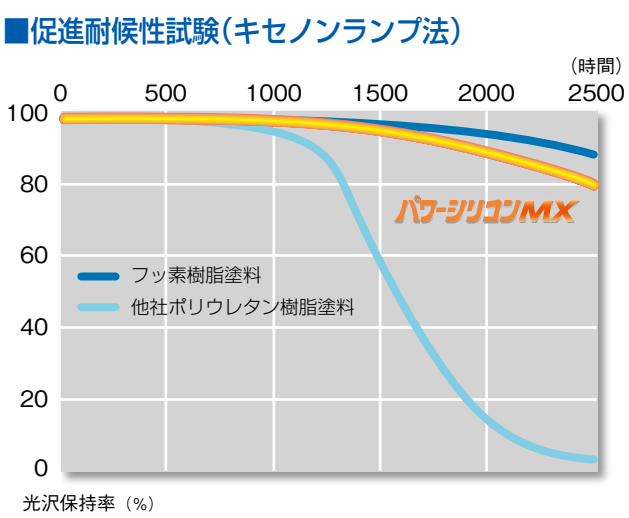


### 用途

**窯業系素材** 窯業系サイディングボード、各種仕上げ材の塗り替え塗装  
新設、及び無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装

**金属系素材** 金属系サイディングボード 鋼構造物 鉄部 亜鉛引き鉄板  
その他、非鉄金属面（亜鉛、ステンレス、アルミ等）への塗装

### 性能



### 塗膜性能

窯業系素材の場合

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K5600-4-7 (60度)	84
付着性	JIS K5600-5-6 (クロスカット法 2mm幅)	分類0
耐液体性	JIS K5600-6-2 (水道水 浸せき法) 23°C×7日間	異常なし
	JIS K5600-6-2 (氷酸化ナトリウム5%氷溶液 浸せき法) 23°C×7日間	異常なし
	JIS K5600-6-2 (硫酸5%水溶液 浸せき法) 23°C×7日間	異常なし
耐湿潤冷熱繰返し性	JIS K5600-7-4 23°C×18h浸せき/-20°C×3h/50°C×3h	10サイクル 異常なし
凍結融解繰返し性	-20°C×16h浸せき/23°C×8h浸せき	10サイクル 異常なし
促進耐候性	キセノンランプ促進耐候性試験 2500h	保持率 80% 色差 ΔE 1.29
耐候性	垂直式屋外暴露試験 大阪 24ヶ月	保持率 96% 色差 ΔE 0.76
引っかき硬度	JIS K5600-5-4 (鉛筆すり傷法)	B~HB

試験塗板：スレート板 乾燥条件：23°C×7日間  
※下塗り材としてマイルド浸透シーラーを塗付しています。

金属系素材の場合

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K5600-4-7 (60度)	87
耐おもり落下性	JIS K5600-5-3 (デュボン式 1kg×50cm×1/2φ)	異常なし
付着性	JIS K5600-5-6 (クロスカット法 1mm幅)	分類0
耐屈曲性	JIS K5600-5-1 (円筒形マンドレル法)	2mm 合格
引っかき硬度	JIS K5600-5-4 (鉛筆すり傷法)	B~HB
耐中性塩水噴霧性	JIS K5600-7-1 ソルトスプレー試験機 500h	異常なし
耐結露白化性	塗装2h後、結露24h試験、2h後、目視判定	異常なし

試験塗板：冷間圧延鋼板(鉄板) 乾燥条件：23°C×7日間  
※下塗り材としてRMプライマーを塗付しています。

### 荷姿

パワーシリコンMX	16kg セット (主剤14kg 硬化剤 2kg)
ナノコンボジットフィラーN	16kg
マイルド浸透シーラー	15kgセット (主剤14kg 硬化剤 1kg)
RMプライマー	15kgセット (主剤14kg 硬化剤 1kg) 常備色 3色：グレー(日塗工FN-55程度)、赤錆(日塗工F09-40L程度)、白
RMシンナー	16L・4L ※シンナーはA(春秋型)、S(夏型)、W(冬型)、W速乾用があります。

窯業系素材

■平滑仕上げ、下地パターンを変えない場合

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。									
下塗り	マイルド浸透シーラー 主剤14kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1	0.1~0.12	125~150	5h以内	—	2h以上	—
上塗り	パワ-シリコンMX 主剤14kg 硬化剤2kg	1~3L	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	57~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		3~5L	エアレス							

※塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

■ざざ波模様仕上げ、下地調整を必要とする場合

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。									
中塗り	ナノコンポジットフィラー-N 16kg	0.2~0.5kg (清水)	砂骨 ローラー	1	0.8~1.2	13~20	—	—	16h以上	—
		0.5~1.0kg (清水)	中毛 ウールローラー		0.3~0.5	32~53				
上塗り	パワ-シリコンMX 主剤14kg 硬化剤2kg	1~3L	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	57~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		3~5L	エアレス							

※塗付量には清水、シンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。  
※下地の劣化が著しい場合は、下塗りにマイルド浸透シーラーを塗装してください。

金属系素材

■平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	錆の発生が進行していたり、ワレ、ハガレ等のある場合は、3種ケレンにより錆や死膜を除去する。その後、清掃、乾燥させてから塗装する。									
下塗り	RMプライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	1~2.5L	ハケ・ローラー	1	0.11~0.15	100~136	4h以内	—	4h以上 10日以内	—
		2.5~5L	エアレス		0.15~0.17	88~100				
上塗り	パワ-シリコンMX 主剤14kg 硬化剤2kg	1~3L	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	57~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		3~5L	エアレス							

※塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。  
※錆の発生が著しい場合は、当社営業担当までご相談ください。

■平滑仕上げ：新設、及び無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装

工程	使用塗料	希釈割合 (RMシンナー)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル・PC・RCサイディングボード等の下地に付着しているレタタンス・土砂・ほこり・油脂類は除去し、水分8%以下、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルで予め補修する。									
下塗り	マイルド浸透シーラー 主剤14kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1	0.1~0.12	125~150	5h以内	—	2h以上	—
上塗り	パワ-シリコンMX 主剤14kg 硬化剤2kg	1~3L	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	57~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		3~5L	エアレス							

※塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

注意事項

【仕様全般】

- 降雨、降雪、強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合は、未乾状態が夜露などにあたると艶引けを起こすことがあります。
- 塗装後、降雨や結露等で白化した場合、目隠しを行い再度塗装してください。
- 塗装後のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- 水洗後、1日以上の乾燥を行ってください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは膜厚不足・仕上がりが不良につながりますので注意してください。
- 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
- ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカシンナーでふき取ってください。
- 酸洗を行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗は念入りにしてください。
- 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
- 目地部に塗料がたまつた場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
- 塗装時は換気口等に養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないようにしてください。
- 塗装や塗料取り扱い時は、換気扇を付け換気確保してください。また、溶剤中毒には十分注意してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。
- 汚れ、傷等により補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
- 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
- シーリング面の塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
- 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものを使用してください。
- 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ウレタンシンナー又はアクリルシンナーを使用してください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

- 使用前には十分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は十分に気をつけてください。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください(専用シンナーを使用してください)。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マーゼル等で十分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。又、気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ずRMシンナーを使用してください。
- 硬化剤はイソシアネート含有している為、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。又、皮膚に付着しないよう十分に注意してください。
- 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
- 化学物質過敏症の方は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151

東京・北関東・中部・大阪・高松・広島・福岡・札幌

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。